

母子笑顔

茅ヶ崎市出身で藤沢市在住の絵本作家、加藤晶子さん(37)による「絵本とおはなし会」が19日、茅ヶ崎市元町の長谷川書店ネスパ店で開かれた。カメラマンの猫といろいろな動物が登場する最新作「クルツのごきげんしゃんかん」などを、作者の加藤さんが心を込めて朗読。幼児や母親らを笑顔にさせた。

加藤さんは大学卒業後、会社員をしながら子どものころからのあこがれだった絵本制作に取り組んだ。男の子がおばあちゃんにあげた一通の手紙が届けられるまでの手紙の大冒険がテーマの「てがみぼうやのゆくところ」で2013年、第35回講談社絵本新人賞を受賞。本格的に絵本作家の道を歩み出した。

作風は「当たり前のことを当たり前に考えないこと」という。汚れた手紙を見たら「いろいろなところ

自作で絵本作家「おはなし会」 茅ヶ崎で加藤さん

で冒険をしてきた」と考え、干している洗濯物は乾かすだけでなく「洗濯物がお互いに話をしている」と想像する。独学の絵は「子どもが見える楽しさを取り込むこと」に気を使う。

絵本とおはなし会には約20組の親子らが参加し、ひたすら聴き入る子どもも。加藤さんは「おはなし会は子どもたちの反応も分かるし、絵本と子どもが直接つ



絵本とおはなし会で幼児の注目を引きつける加藤さん

日南 13 S 2016年(平成28年)4月20日(水曜日) 言 宣 衆 戸



自らの作品の読み聞かせをする加藤さん(茅ヶ崎市で)

このおはなし会

絵本作家が読み聞かせ 親子連れ聞き入る

茅ヶ崎市の長谷川書店ネスパ茅ヶ崎店で19日、恒例の「絵本とおはなし会」が開催され、特別ゲストとして絵本作家・加藤晶子さんが参加した。

加藤さんは茅ヶ崎市出身で藤沢市在住。3年前にデビュー作「てがみぼうやのゆくところ」で講談社絵本新人賞を受賞した。この日は受賞作品と、先月出版したばかりの2作目「クルツのごきげんしゃんかん」を自ら読み聞かせした。

新刊は、カメラマンの猫のクルツが、写真館に来る動物の悩みや問題をたちまち解決するというストーリーで、会場を訪れた約50人の親子連れは興味深げに聞き入っていた。

新聞に載りました。
 「絵本とおはなし会」は
 毎月第3火です。
 来てね!!

絵本とおはなし会

ともだち
チーズ
ずず...ずかん!
あゝまたまけちゃった

すべりだい
イルカ
カンガルー



うう...
うどん!!

うわゝまた
まけちゃった
だめだねあ〜

VOL. 213

‘あそびましょ’

わざとじゃないよ。
たんばるから、もういいかい!!

5月17日(火) 3:00~

JR 茗荷谷駅
北口
エキスポスロ

長谷川書店ネスパ店6Fギャラリー

TEL 0467(88)0008・ホ-ムレ-ジ <http://books-hasegawa.co.jp/>

FAX 0467(88)0007・メ-ルアドレス support@books-hasegawa.co.jp

毎月第3火曜日3時から。
はせしよの「絵本とおはなし会」♪
入場無料の催しです。お気軽に
ご参加下さい。次回は6月21日です。

